

表 3-4 世界 13 カ国 寄生虫感染症報告事例の有無 -線虫症 2- (最近 5 年間)

Disease 疾患名	Leishmaniasis 顎口虫症	Hookworm 鉤虫症	Opisthorchiasis オニシセルカ症	Strongyloidiasis 強線虫症	Trichostrongylosis イヌ回虫症	Trichuriasis 炭毛虫症	Trichostrongylosis 鞭虫症
ブラジル	+	+	+	+	+	+/-	+
ペルー	+	+/-	-	+	+	+/-	+/-
ハイチ	-	+/-	-	+/-	+/-	+/-	+/-
日本	+/-	+/-	-	+	+	+	+/-
中国	+	+	-	+	+/-	+	+
韓国	-	+/-	-	+	+	+/-	+
台湾	+/-	+/-	-	+	+	+	+/-
フィリピン	+/-	+/-	-	+/-	+/-	+/-	+
カンボジア	+/-	+	-	+	+/-	+/-	+
インド	+	+	-	+	+/-	+/-	+
イタリ	-	+/-	-	+/-	+/-	+/-	+/-
モザンビーク	-	+	-	+/-	+/-	+/-	+
ソマリア	-	+/-	-	+/-	+/-	+/-	+/-

表 3-5 世界 13 カ国 寄生虫感染症報告事例の有無 -吸虫症- (最近 5 年間)

Disease 疾患名	Clonorchiasis 肝吸虫症	Tricladiniasis 横川吸虫症	Opisthorchiasis オビシセルカ症	Paragonimiasis 肺吸虫症	Chilomastix parvum ビルハルツ住虫 吸虫症	Archicostium japonicum 日本住血吸虫症	Schistosoma haematobium マンソン住血吸 虫症
ブラジル	-	-	-	+	-	-	+
ペルー	-	-	-	+/-	-	-	-
ハイチ	-	-	-	-	-	-	-
日本	-	+/-	+/-	+	-	-	-
中国	+	+	-	+	-	+	-
韓国	+	+/-	+/-	+	-	-	-
台湾	+/-	+/-	-	+/-	-	-	-
フィリピン	+/-	-	+/-	+/-	-	+	-
カンボジア	+/-	+/-	+	-	-	+/-	-
インド	-	+	+/-	+	+/-	-	-
イタリ	-	-	-	-	+/-	-	-
モザンビーク	-	-	-	-	+	-	+
ソマリア	-	-	-	-	+/-	-	+/-

表 3-6 世界 13 カ国 寄生虫感染症報告事例の有無 -条虫症- (最近 5 年間)

Disease 疾患名	Ascariasis 有鉤条虫症	Trichostrongylosis 炭毛条虫症	Strongyloidiasis 多包条虫症	Ascariasis 鼠包条虫症	Trichostrongylosis 細小条虫症	Trichostrongylosis 小形条虫症	Ascariasis 通条虫症	Ascariasis 有鉤条虫症
ブラジル	+	+	-	+/-	+	+	+/-	+/-
ペルー	+	+/-	-	+	+	+	+/-	+
ハイチ	+	+/-	-	-	+/-	+/-	+/-	+/-
日本	+/-	+	+	+	+/-	+/-	+	+/-
中国	+	+/-	+	+	+/-	+/-	+	+
韓国	+/-	+	-	+/-	+/-	+/-	+	+
台湾	+/-	+	-	+	+/-	+/-	+/-	+/-
フィリピン	+/-	+/-	-	+/-	+/-	+/-	+/-	+/-
カンボジア	+/-	+/-	-	+/-	+	+	+/-	+/-
インド	+	+/-	+/-	+	+	+	+	+
イタリ	+/-	+/-	+/-	+	+/-	+/-	-	+/-
モザンビーク	+/-	+/-	-	+/-	+/-	+	+/-	+
ソマリア	+/-	+/-	-	+/-	+/-	+/-	+/-	+/-

+: 過去 5 年間に文献報告等があり、科学的、客観的に流行が証明されている。

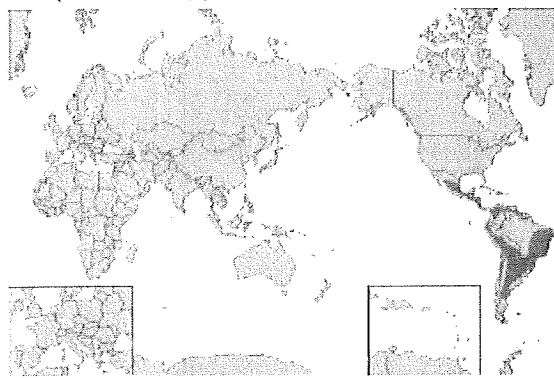
+/-: 文献報告等はないが、流行が強く推測されている。

-: 現時点では流行が無いと考えられている。

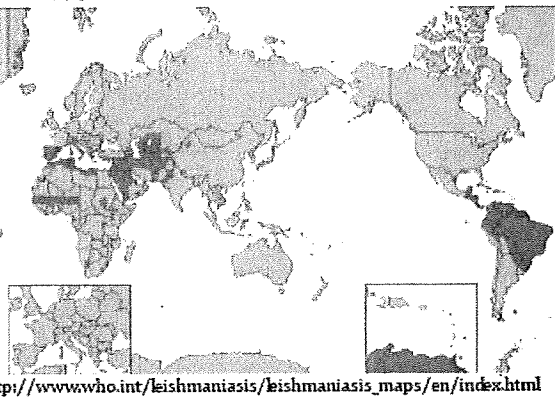
疾患の流行状況は、PubMed, ProMed, GIDEON から情報を入手し判断した。

資料3 慢性寄生虫感染症 代表疾患 流行世界地図

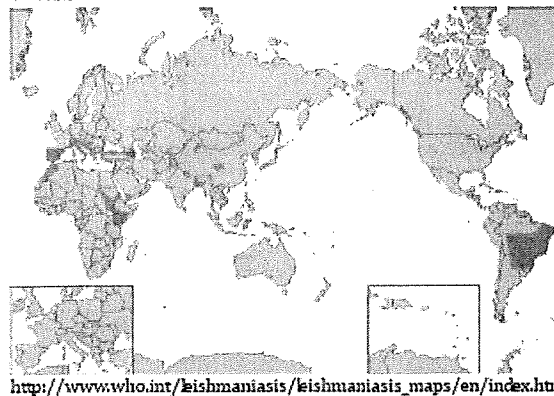
シャーガス病



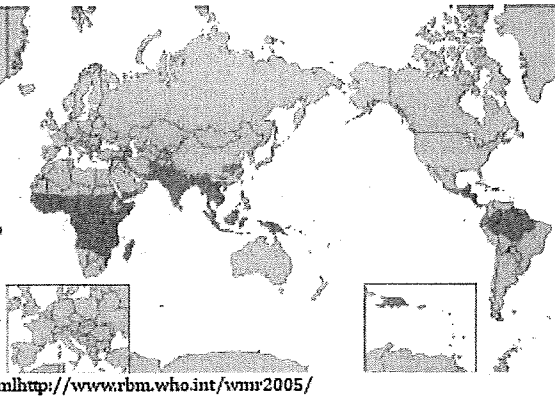
皮膚リーシュマニア症



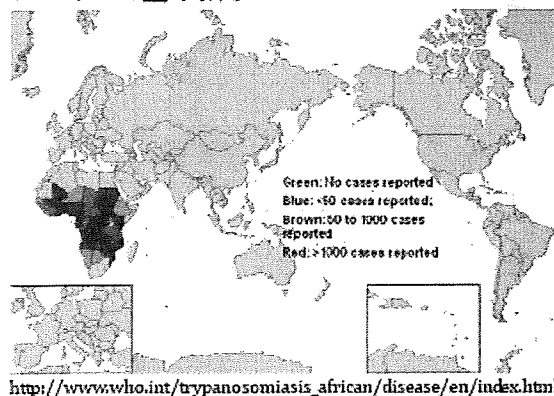
内臓リーシュマニア症



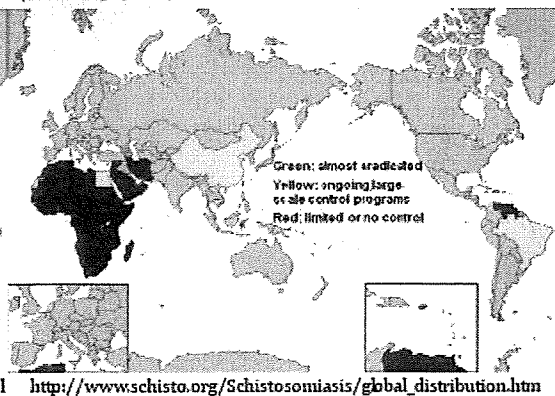
マラリア



アフリカ睡眠病



住血吸虫症



図は、世界地図のフォーマットを統一するために参考資料を改変してある。

## 第4章 健康手帳 (6ヶ国語併記)

在留外国人の方々へは本健康事案への関心を高める活動の一環として、下記のような6ヶ国語併記の健康手帳を配布し、健診受診の意義、大切さや疾患の平易な解説などを試みた。

(日本語)

# 在留外国人の方々の 健康手帳

厚生労働科学研究費  
新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業  
研究班

---

お名前

---

性別

生年月日

---

国籍

---

出身地

---

感染症既往歴

---

予防接種

---

#### はじめに

この手帳は、在留外国人の方々にご自身の健康管理の意識を高めていただくために作られました。

母国を離れて日本の社会で暮らすためには、健康が一番の資本です。日本は物価も高く生活しづらい側面がある一方、医療、衛生面での社会基盤はしっかりと整備されています。しかし、日本の医療機関では国内には存在しない疾病については、例外を除いて管理できません。

この健康手帳は、在留外国人の方々の健康情報を、日本には存在しない慢性寄生虫感染症の側面から提供して行くことを目的として配布されます。この情報をもとに、より質の高い健康的な生活を送っていただければ望外の喜びとなります。

#### 個人情報の取り扱いについて

この手帳は、在留外国人の方々安心して利用できるように作られています。この手帳を利用することで不利益を被るのではという不安を抱かれる必要は全くありません。

この手帳の作成、配布にあたっては、純粋に医学・医療および人道的側面からの健康情報の提供を目的としています。個人情報は完全に守られます。ご安心ください。

#### 慢性寄生虫感染症とは

この健康手帳を受け取られた方は、慢性寄生虫感染症の罹患、既往の有無につき無料で検査を受けられます。検査の結果は、この健康手帳をご持参いただいた折に、口頭で説明を受けた後、手帳へ結果が正確に記入されます。この健康情報をもとに、在留外国人の方々ご自身の健康意識の向上へ役立てていただくことを希望しています。

慢性寄生虫感染症に罹患しているか否かは、自覚症状に乏しいこともありご本人にもわからないことが大多数です。放置しておく、長期間の後に取り返しのつかない病態が引き起こされることもあります。したがって、この健康手帳を活用され、これら慢性寄生虫感染症への罹患の有無をお調べになっておくことを強くお勧めいたします。

#### 検査について

検査費用は無料です。しかし、検便と採血、時に検尿が必要になります。検便は、採便容器をお渡ししますので、説明書にしたがって採便され、採便後出来るだけ速やか（当日または翌朝）にご持参ください。

採血、検尿は、お近くの診療所またはコミュニティー・センター（公民館等）において健康相談会の際に行わせていただきます。採血量は、3 CC～5 CC ほどです。

健康相談会場は、仕切り等で出来るだけ多くの閉鎖空間を作り、ご来場の方々が不愉快に感じないよう配慮いたします。健康相談の日程、場所等は、多くの手段を通してお知らせいたします。お誘い合わせのうえ、出来るだけ多くの方とご来場ください。会場には医師が常駐し、不測の事態に対応させていただきます。健康手帳を事前に入手されていない方でも、当日に配布いたします。

これら慢性寄生虫感染症の検査には、日本の医療機関、検査機関では日常的に行えない疾患も含まれます。この機会に検査を受けておかれると安心だと思います。

#### 手帳の使い方

手帳には、検査結果が判明した慢性感染症の現在の罹患の有無、過去に罹患したことがあるかその既往の有無を記載するページがあります。

ご自身の健康現況についての情報として、大切に保管してください。さらに、日本または母国の医療機関を受診される際には、この健康手帳をご提示ください。

#### 検査結果

慢性寄生虫感染症	現病歴	診断手技	罹患歴	診断手技	判定日時	付記
マラリア						
シャーガス病						
リーシュマニア症						
赤痢アメーバ症						
ジアルジア症						
クリプトスポリジウム症						
回虫症						
鉤虫症						
鞭虫症						
住血吸虫症						
囊虫症						
その他						

結果：（＋）＝陽性、（－）＝陰性

診断手技：血清＝血清診断、検便＝糞便検査

#### 慢性寄生虫感染症の説明および必要な検査

#### 1. マラリア

マラリアは熱帯地方で流行している熱性疾患です。マラリアでも、慢性的、持続的に感染する場合があります。時に熱発作が繰り返され、不愉快な症状に悩まされます。慢性マラリア感染症の罹患が明らかになれば、治療法は確立しています。罹患の有無をしっかりと検査されて、今後の対策に生かしてください。血液検査が必要になります。

#### 2. シャーガス病

中南米ご出身の方々、本症罹患の有無を検査しておくことを強くお勧めいたします。本症は、吸血昆虫による媒介、または輸血によって感染します。ご本人が感染を自覚していないことも多くあり、感染終期に、突然に心不全等の重篤な症状を発症して慢性感染に気づくことがあります。

早期に慢性感染に気づいていれば、対策を講じることも不可能ではありません。血液検査が必要になります。

#### 3. リーシュマニア症

この感染症は、内臓、皮膚、粘膜等に病態を引き起こし多彩な症状を呈してきます。中東、中南米等多くの地方で流行しています。日本には無い感染症であることから、しっかりと診断、治療体制が確立していません。慢性期になると、感染しているという自覚症状も無くなり、一方で病態は進行してゆくこともあります。しっかりと感染の有無について診断をつけておくことが大切です。血液検査が必要になります。

#### 4. 赤痢アメーバ症

赤痢アメーバ症は、消化器症状に加え内臓へも病態が及ぶことがあります。放置しておくこと死に至る感染症です。自覚症状に乏しい場合もあり、気がついたときには、既に生命を脅かすほどに重症という場合もよくあります。一番大切なことは、早期に診断をつけておくことです。そのためには、血液検査および糞便検査が必要になります。

#### 5. ジアルジア症

ジアルジアは、腸管内に寄生する原生動物です。下痢が主症状ですが、慢性化すると症状は全く無いこともあります。腸管内で増殖しているときに胆管から胆嚢へ侵入し炎症を引き起こすことがあります。こういう合併症を防ぐためにも正確な診断をつけておくことが大切です。糞便検査が必要になります。

#### 6. クリプトスポリジウム症

本症は、下痢症の原因疾患として重要です。糞便より排泄される病原体は環境変化に対して抵抗性があり、また上水道消毒剤への抵抗性を有しています。そのうえ、径が小さいことから上水道水のろ過過程をも通過し、大規模な水系感染を引き起こすことが知られています。免疫不全状態にある方では、本下痢症は致死的になることが知られており、糞便検査で罹患の有無を明らかにしておいたほうが良いでしょう。

#### 7. 回虫症

回虫は細長いひも状の形体を有し、線虫に属する代表的な寄生虫症です。下痢等の消化器症状、胆管侵入による胆管炎、乳幼児では成長遅滞が見られます。致死的な経過をたどることはまずありませんが、早めに診断をつけられ、治療方策を講じられることが大切です。糞便検査が必要になります。

#### 8. 鉤虫症

鉤虫は、消化管内に寄生後、大量に吸血する寄生虫です。大量寄生の事例では、したがって吸血による血液の不足から貧血になります。乳幼児では、特に成長への悪影響が甚大です。致死的な経過をたどることはまずありませんが、早めに診断をつけられ、治療方策を講じられることが大切です。糞便検査が必要になります。

#### 9. 鞭虫症

下痢等の消化器症状、乳幼児では成長遅滞が見られる代表的な寄生虫感染症です。致死的な経過をたどることはまずありませんが、早めに診断をつけられ、治療方策を講じられることが大切です。糞便検査が必要になります。

#### 10. 住血吸虫症

住血吸虫は、血管内に寄生し大量に血液を摂取する寄生虫です。成虫は大量に産卵し、産み落とされた虫卵は末梢血管を塞いで血流を止め、重篤な組織障害を引き起こします。東アジア、東南アジア、アフリカ、南米で流行しており、治療しなければ取り返しのつかない病態へと進行し致死的な経過をたどります。早めに診断をつけておけば、治療法は確立していることから治療が期待できます。血液検査と糞便検査または尿検査が必要になります。

## 11. 囊虫症

豚肉の生食習慣のある地方では、囊虫症の罹患可能性が極めて高くなります。囊虫は、さまざまな組織に寄生し、脳実質内に寄生すると麻痺、けいれん等重篤な神経症状が出現してきます。検査を受けられ、本症の正しい知識を得て、予防法を講じられることをお勧めいたします。血液検査が必要になります。

### 結果の活用について

在留外国人の方々の本健康調査結果につきましては、今後の健康管理体制の確立の目的を達成するために活用されます。しかし、最初に記しましたとおり、個人名その他の個人情報を公開することはありません。どうかご安心ください。

健康調査結果の公開は、日本の社会で在留外国人の方々がより質の高い健康的な生活を過ごして行かれるためにも有意義であると思われれます。明らかにされた在留外国人の方々の健康現況に基づき、今後のより良い健康管理体制の構築、治療体制の構築等へつなげてゆくことができるものと期待できます。

ご協力、ご理解をいただければ幸いです。

(英語)

# **Health Handbook for Foreign Residents**

Research Group for Emerging and Re-Emerging Infectious Diseases Financed By  
The Ministry of Health, Labor and Welfare



---

Name

---

Sex

Date of Birth

---

Nationality

---

Place of Birth

---

Patient's infectious disease history

---

Patient's Vaccination History

---

#### Introduction

The purpose of this health handbook is to promote the self awareness of foreign residents on personal health. Health is the most important asset for foreigners living in Japan. There are both advantageous and disadvantageous aspects of life in Japan. For example, the living cost here can be very expensive, while the medical and sanitary infrastructure is well developed. Nevertheless, even if Japan's health system is qualified to treat any type of disease, there is a good possibility that Japanese doctors may not be able to respond to diseases that do not exist within Japan.

This handbook is intended provide foreign residents with information on potential health problems associated with chronic infectious diseases not endemic here in Japan. It is our hope that this handbook will be able to help foreign residents enjoy better quality and healthy life in Japan.

#### Handling of personal information

This health handbook is created for foreign residents who can use it with a sense of security. Please rest assured that use of this handbook will not disadvantage you in any way.

The aim of this handbook is to provide foreign residents with vital health information solely with medical and humanitarian assistance in mind. All personal information provided in this handbook will be securely protected against any misuse.

#### What are chronic parasitic infections?

Anyone who has received this handbook is eligible for a free medical check-up to see if they have ever been infected with any chronic parasitic infections. Holders of this handbook will then be informed of the results of the check-up when visiting us or a nearby private practitioner, upon which the results should be recorded in this handbook. By doing so, we are hoping such health-related information will help improve the awareness of foreign residents on their personal health.

People who contract chronic parasitic infections quite often perceive no clinical symptoms. Without effective treatments, irreversible and incurable pathologies could occur after long-term infections. We therefore strongly recommend you to have a medical check-up for chronic parasitic infections with us.

#### About the medical check-up

The check-up will be performed without charge. Stool, blood, and in some cases urine samples will be collected for analysis. Containers for stools will be distributed in advance, you will be asked to collect a sample of your stool and bring it to us or a nearby private practitioner as soon as possible (on the same day or the next morning).

Blood and urine samples will be collected when you come for your health consultation at a nearby clinic or any community center (such as a *kominkan* public hall). The required amount of blood is about 3cc to 5cc.

Efforts are made to set up as many partitioned spaces as possible at such places for health consultation to ensure your comfort and privacy. You will be informed of the date, time and place for the check-up via every possible means. You should come to the check-up with as many people as possible, such as family members, friends and acquaintances. Medical doctors will be stationed on site and will respond to any unexpected medical emergencies. People without this health handbook can obtain it on site.

The check-up for chronic parasitic infections checks also diseases not generally checked at medical or check-up organizations. In this respect, we encourage you to take advantage of this opportunity to get yourself checked.

How to use this handbook

In this handbook there is a section designed for keeping records of your check-up results for chronic parasitic infectious diseases.

The records will serve as information regarding your health conditions, and we recommend that you keep this handbook safe. It will also come in handy when you receive future medical consultations either in Japan or in your home country.

Results of check-up for infectious diseases

Chronic Infections	Parasitic	Current record of medical history	Diagnostic Procedures	Past History of infections	Diagnostic Procedures	Date of diagnosis	Remarks
Malaria							
Chagas Disease							
Leishmaniasis							
Amoebiasis							
Giardiasis							
Cryptosporidiosis							
Ascariasis							
Hookworm infection							
Trichuriasis							
Schistosomiasis							
Cysticercosis							
Others							

Results : (+) = Positive, (-) = Negative

Diagnostic procedures: Serum = serum test    Stool = stool examination

## Chronic parasitic infections and required diagnostic tests

### 1. Malaria

Malaria is a febrile disease endemic in tropical regions. It can cause persistent and chronic infection. People suffering from a chronic malaria infection periodically experience recurrent febrile attacks that can be unpleasant. Standard treatment can cure the infection once the proper diagnosis for the disease is made. It is highly recommended that the diagnostic test be performed.

Requires blood test.

### 2. Chagas Disease

People who come from Central and South American countries are strongly recommended to take diagnostic tests for Chagas Disease, a disease transmitted either via blood-sucking insects or via blood transfusion. The disease is quite often asymptomatic but suddenly causing life-threatening symptoms such as heart failure during the final stage.

Treatment is still possible if the disease is diagnosed at early stage.

Requires blood test.

### 3. Leishmaniasis

This disease induces a variety of pathologies in visceral organs, skin and mucosal tissues. It is endemic in the Middle East, Central and South Americas. Since it does not exist in Japan, reliable diagnostic tests or treatments are not performed in most of the Japan's clinical facilities. Once the disease enters the chronic state, patients infected with the *Leishmania* parasite very often are unaware of any clinical symptoms. However, as pathologies progress, the health conditions can gradually deteriorate. It is therefore crucial to be diagnosed at the early stage of the disease.

Requires blood test.

### 4. Amoebiasis

Amoebiasis causes not only gastrointestinal symptoms, but also pathologies in visceral organs such as the liver. It can become fatal if the disease is not properly treated. The disease is sometimes asymptomatic and by the time symptoms are felt the disease would have already progressed to a serious stage that can be life threatening. It is vital that swift diagnosis is made

Requires blood test and stool examination.

### 5. Giardiasis

*Giardia lamblia* (or *G. intestinalis*) is a protozoan parasite that resides in the small intestine. It mainly causes diarrhea, although the infected person often can be unaware of the symptoms once the infection becomes chronic. The parasite reproduces in the small intestine and invades into the bile duct, causing inflammation in the gall bladder. To prevent the onset of various types of complications, it is crucial to be diagnosed properly.

Requires stool examination.

### 6. Cryptosporidiosis

Cryptosporidiosis is known for causing severe diarrhea. The pathogenic parasite, excreted along with feces, is resistant both to environmental changes and to chemicals used for disinfecting tap water. And since the diameter of the pathogen is very small, it could pass through filters for drinking water and thus lead to a large-scale water contamination. The disease can be fatal when an immunocompromised person is infected with the pathogen. It is a good idea to find out if you are infected by doing a stool examination.

### 7. Ascariasis

*Ascaris* looks like a long and slender cord in form. It is a typical parasitic helminth and belongs to the Class Nematoda. It causes gastrointestinal symptoms such as diarrhea, inflammation in the bile duct where the worm can enter by chance, while severe growth retardation can be observed in infants. Although not fatal in most of cases, early diagnosis of the disease and proper treatment are vital.

Requires stool examination.

### 8. Hookworm Infection

The hookworm resides in the intestinal tract and feeds on massive amounts of blood. In the case of someone carrying a large number of hookworms, the infected person will suffer from anemia due to massive blood loss. In infants, the detrimental impact on growth is particularly great. Although not fatal in most of cases, early diagnosis of the disease and proper treatment are vital.

Requires stool examination.

### 9. Trichuriasis

Trichuriasis is caused by one of the most typical parasites, leading to gastrointestinal symptoms such as diarrhea and

growth retardation in infants. Although not fatal in most of cases, early diagnosis of the disease and proper treatment are vital.

Requires stool examination.

#### 10. Schistosomiasis

The schistosome parasite resides within blood vessels and ingests massive amounts of blood. Adult female worms lay a large number of eggs into the blood flow, blocking peripheral capillaries and resulting in severe tissue damage. The disease is endemic in Africa, South America, and Southeast and East Asia. Without effective treatment, the induced pathologies will become irreversible, incurable and fatal. Early diagnosis can lead to recovery from the disease, since effective treatment has been established.

Requires blood test, stool and urine examinations.

#### 11. Cysticercosis

In regions where eating raw pork cuisines is popular, there is a very high risk of being infected with cysticercosis. The cysticercus resides in various organs and if it enters the brain, it can cause severe neurological symptoms such as paralysis or seizures. We recommend receiving diagnostic tests and obtaining accurate knowledge about the disease as preventive countermeasures.

Requires blood test.

#### How the results will be used

The results yielded from this health study (for diagnosing chronic parasitic infectious diseases) on foreign residents in Japan will be useful in establishing a health system for controlling the diseases. However, as already stated, please rest assured that no personal information such as names will be made public.

By making the results of this health study public, we believe it is significant in ensuring foreign residents in Japan can live a high-quality healthy life. We hope to utilize the current health conditions of foreign residents obtained from this study to build better systems such as for health management and treatment.

Thank you very much for your understanding and contribution.

(ポルトガル語)

# Caderneta de Saúde

do morador estrangeiro

Fundo de Investigação Científica do Ministério da Saúde, Trabalho e Bem-Estar

Projeto de Pesquisa de Doenças Infecciosas Reemergentes e Emergentes Como a Nova  
Gripe

Grupo de Pesquisa

Nome:

Sexo:

Data de nascimento: \_\_\_\_\_ ano \_\_\_\_\_ mês \_\_\_\_\_ dia

Nacionalidade:

Cidade natal:

Histórico de doenças infecciosas:

Histórico de vacinas preventivas:

### Introdução

Esta caderneta foi elaborada para que os estrangeiros se conscientizem mais sobre os cuidados com a sua própria saúde.

A saúde é o bem mais valioso quando se está morando longe do nosso país. O custo de vida no Japão é alto e por vezes é um país difícil de morar, porém a área médica e de saúde possuem uma boa infra-estrutura física, mas não é possível às instituições médicas japonesas, tirando algumas exceções, manter controle sobre doenças que não existem no Japão.

Esta Caderneta de Saúde (kenkou-tetyou) foi entregue para servir de fonte de informação sobre a saúde dos estrangeiros residentes, principalmente do ponto de vista das infecções parasitárias crônicas que não existem no Japão. Seria uma felicidade muito grande se essas informações pudessem servir para que todos pudessem levar uma vida com mais saúde.

### Sobre o manuseio das informações pessoais

Esta Caderneta foi elaborada para que os moradores estrangeiros possam usá-la com tranquilidade. Não se preocupe pois o uso desta caderneta não trará nenhum tipo de prejuízo ao seu usuário.

O objetivo da elaboração e entrega desta caderneta é de servir como mera fonte de informação médica e humanitária. As informações pessoais serão mantidas em sigilo. Portanto esteja tranquilo.

### O que são infecções parasitárias crônicas?

As pessoas que receberam a caderneta de saúde poderão fazer exames gratuitos para detectar se possuem ou não infecções parasitárias crônicas, ou se já foram infectados no passado. O resultado dos exames será explicado primeiro verbalmente e depois anotado corretamente na sua Caderneta de Saúde. Pedimos portanto que tragam a sua Caderneta de Saúde na hora de receber o resultado dos exames. Nosso desejo é de que esta informação seja útil para que os moradores estrangeiros se conscientizem mais sobre o seu estado de saúde.

A infecção parasitária crônica não apresenta muitos sintomas perceptíveis, e em muitos casos a pessoa não sabe que está infectada. Se a doença não for tratada por longo tempo, pode inclusive chegar a um estado irreversível. Recomendamos fortemente usar esta Caderneta de Saúde para fazer os exames e saber se está ou não com uma infecção parasitária crônica.

### Sobre os exames

Os exames serão gratuitos. Serão necessárias amostras de fezes, de sangue e de urina. Para coletar a amostra de fezes entregaremos o pote coletor, siga as instruções para coletar a amostra de fezes. A amostra coletada deve ser entregue o mais rápido possível (no mesmo dia da coleta ou na manhã seguinte).

A coleta de sangue e urina serão feitas durante a consulta de saúde (kenkou soudankai) que será realizada na clínica ou no centro comunitário (kouminkan) da sua proximidade. A quantidade de amostra de sangue será de 3cc a 5cc aproximadamente.

No local da consulta de saúde, providenciaremos espaços fechados com divisórias para que os examinados se sintam à vontade durante a consulta. O dia, o horário e o local da consulta de saúde serão informados de várias maneiras. Chame também os seus conhecidos e venham juntos ao local da consulta de saúde. No local também estarão presentes médicos para atenderem a uma eventualidade. Mesmo aqueles que não possuem a Caderneta de Saúde poderão comparecer à consulta e receberem a sua Caderneta no dia.

O exame de infecção parasitária crônica irá examinar doenças que normalmente não são diagnosticadas em instituições médicas e laboratórios do Japão. Garanta a sua tranquilidade aproveitando esta ocasião para fazer o seu exame.

### Sobre o uso da Caderneta

A Caderneta terá uma página onde será anotado o resultado do exame para cada doença de infecção crônica, se está infectado ou não, se já foi infectado no passado e se está curado ou não.

Guarde com cuidado, pois é uma importante informação sobre o seu estado de saúde. Apresente esta Caderneta de Saúde quando for fazer uma consulta médica no Japão ou no seu país

**Resultado do exame**

Infeção parasitária crônica	Histórico da atual infecção	Procedimento do diagnóstico	Histórico da infecção anterior	Procedimento do diagnóstico	Data e hora da confirmação	Notas complementares
Malária						
Doença de Chagas						
Leishmaniose						
Disenteria amébrica						
Giardiose						
Criptosporidíase						
Ascariíase						
Ancilostomose						
Tricuriose						
Esquistossomose						
Cisticercose						
Outros						

Resultado: (+) positivo, (-) negativo

Procedimento do diagnóstico: exame de sangue = diagnóstico do soro, exame de fezes = copologia

**Explicação sobre a infecção parasitária crônica e os exames necessários****1. Malária**

A malária é uma doença febril comum em áreas tropicais. A malária pode ser uma doença crônica e contínua. Causa repetidos surtos de febre provocando sintomas desagradáveis. Existe tratamento estabelecido para quando se descobrir o contágio da malária crônica. Realize o exame para descobrir se está ou não com a doença e poder tomar medidas necessárias. É necessário fazer exame de sangue.

**2. Doença de Chagas**

Aconselhamos as pessoas provenientes das Américas do Sul e Central fazerem o exame para detectar esta doença. Esta doença é transmitida através do inseto que suga o sangue e também por transfusão de sangue. Há muitos casos onde a própria pessoa não sabe que está contaminada. Há casos em que só se nota o contágio quando ocorrem sintomas graves como insuficiência cardíaca. Se descoberto precocemente é possível tomar medidas necessárias. É necessário fazer exame de sangue.

**3. Leishmaniose**

Esta doença infecciosa ocorre em várias partes do corpo como órgãos internos, pele e mucosas, e apresenta vários sintomas. É comum em vários lugares do mundo como Oriente Médio e Américas do Sul e Central. Esta doença infecciosa não existe no Japão, por isso o seu diagnóstico é difícil e o seu tratamento médico não está estabelecido. Na fase crônica é comum não notar os sintomas da doença porém há casos em que ela continua evoluindo. É importante fazer o exame para saber se está ou não infectado. É necessário fazer exame de sangue.

**4. Disenteria amébrica**

A disenteria amébrica é uma doença digestiva que pode atingir também os órgãos internos. Se não for tratada é uma doença infecciosa que pode levar a morte. Há casos em que não apresenta muitos sintomas e quando se descobre, o estado da doença já está tão avançado que pode até ameaçar a vida da pessoa. O mais importante é diagnosticar a doença na fase inicial. Para isso é necessário fazer exames de sangue e de fezes.

**5. Giardiose**

A giardiose é um protozoário que parasita o intestino. A diarreia é o sintoma mais forte, mas quando se torna uma doença crônica pode não apresentar nenhum sintoma. Enquanto proliferam dentro do intestino podem se locomover do duto biliar para a vesícula biliar podendo causar inflamações. Para prevenir contra essas complicações é necessário que se faça um diagnóstico detalhado. É necessário fazer exame de fezes.

**6. Criptosporidíase**

Esta doença é uma das causas da diarreia. O agente causador é expelido através das fezes e possui alta resistência a mudanças ambientais, sendo resistente também à ação desinfetante da água da torneira. Como o seu diâmetro é muito pequeno, consegue passar pelo filtro no processo de tratamento de água, podendo causar a contaminação da água em grande escala. Para quem se encontra com insuficiência no sistema imunológico, esta diarreia pode ser fatal. É necessário fazer o exame de fezes para saber se está infectado ou não pela doença.

#### 7. Ascariíase

A lombriga é um verme com um formato fino e comprido parecido com um fio, pertencente ao filo dos nemátodos, sendo a doença parasitária representativa dessa classe. Apresenta sintomas gastro-intestinais como a diarreia e inflamação das vias biliares através da obstrução das mesmas. Nos recém-nascidos a doença se desenvolve lentamente. A doença não leva à morte, porém é aconselhado obter um diagnóstico rapidamente para poder iniciar o seu tratamento. É necessário fazer exame de fezes.

#### 8. Ancilostomose

O verme da ancilostomose é um parasita gastro-intestinal que suga sangue em grande quantidade. No caso de haver grande quantidade de parasitas acaba provocando a anemia do indivíduo devido à grande quantidade de sangue que é sugado. Em recém-nascidos causa impactos negativos no seu desenvolvimento. A doença não leva à morte porém é aconselhado obter o diagnóstico rapidamente para poder iniciar o seu tratamento. É necessário fazer exame de fezes.

#### 9. Tricuriose

É uma infecção parasitária representativa que apresenta sintomas gastro-intestinais como a diarreia, provocando o retardamento do desenvolvimento em recém-nascidos. Não leva à morte porém é aconselhado obter o diagnóstico rapidamente para poder iniciar o seu tratamento médico. É necessário fazer exame de fezes.

#### 10. Esquistossomose

O verme da esquistossomose é um parasita que se aloja nas veias e suga grande quantidade de sangue. Os parasitas adultos depositam uma grande quantidade de ovos que bloqueiam as veias periféricas impedindo o fluxo sanguíneo no local e causando grave dano ao tecido. A doença tem se proliferado no leste asiático, no sudeste asiático, na África e na América do Sul. A doença quando não é tratada, se agrava até um estado irreversível, podendo até mesmo levar à morte. Pode ser curada se diagnosticada precocemente. É necessário fazer exame de sangue e exame de fezes ou urina.

#### 11. Cisticercose

Nas regiões onde se tem o hábito de comer carne suína crua, a possibilidade de contrair cisticercose é extremamente alta. O parasita cisticercose se aloja em vários tecidos podendo até mesmo alcançar o cérebro causando sintomas neurológicos graves como paralisia e espasmos. É recomendado fazer um exame para saber mais sobre a doença e poder tomar medidas preventivas. É necessário fazer exame de sangue.

#### Sobre o uso dos resultados

Os resultados do presente exame de saúde feito junto aos estrangeiros residentes serão utilizados com o objetivo de estabelecer no futuro um sistema de gestão de saúde. Porém como já foi citado no início, não serão revelados o nome do examinado e outras informações pessoais. Esteja tranquilo.

A divulgação do resultado do exame de saúde é importante para que os estrangeiros que moram no Japão possam levar uma vida com mais saúde. Com base no estado de saúde dos estrangeiros revelado neste exame, pretendemos construir um sistema de gestão de saúde e tratamento médico cada vez melhor.

Contamos com a sua cooperação e compreensão.



(スペイン語)

## **Manual de Salud para Residentes Extranjeros**

**Grupo de Investigación de Enfermedades Infecciosas Nuevas y  
Emergentes, como la Influenza nueva y otras afecciones -  
Investigación Financiada por el Ministerio de Salud, Trabajo y  
Bienestar de Japón**

---

Nombre y Apellido

---

<hr/> Sexo	<hr/> Fecha de Nacimiento
------------	---------------------------

---

Nacionalidad

---

Lugar de Nacimiento

---

Antecedentes de enfermedades infecciosas

---

Historia de vacunación

---

### **INTRODUCCIÓN**

Este Manual ha sido elaborado a fin de conscientizar a los residentes extranjeros acerca del mantenimiento de su propia salud.

Para vivir en la sociedad japonesa alejados de su propio país, su salud es su capital más apreciado. Mientras que en Japón el costo de vida es alto y la vida cotidiana presenta aspectos difíciles, la infraestructura de asistencia médica y sanitaria están firmemente preparadas. Sin embargo, las Instituciones Médicas de Japón no pueden controlar las enfermedades que no existen en el país, a excepción de algunas.

Este Manual de Salud se distribuye a los residentes extranjeros con el propósito de ofrecerles información relativa a las enfermedades crónicas parasitarias que no existen en Japón. Nos sentiríamos muy contentos si pudieran gozar de una vida plena de salud tomando como fuente esta información.

### **MANEJO DE LA INFORMACIÓN PERSONAL**

Este Manual ha sido elaborado en tal forma que los residentes extranjeros puedan usarlo sin preocupación alguna. Tampoco deben preocuparse de sufrir desventajas por el hecho de utilizar este Manual.

Este Manual ha sido elaborado y distribuido con la finalidad de suministrar información de salud esencial desde el punto de vista médico, y de asistencia médica y humanitaria. Su información personal estará absolutamente protegida y asegurada, por lo tanto puede sentirse tranquilo al respecto.

### **SOBRE LA INFECCIÓN PARASITARIA CRÓNICA**

Las personas que han recibido este Manual de Salud pueden realizarse gratuitamente el examen médico para comprobar si tienen o han tenido una infección parasitaria crónica. Presentando este Manual de Salud, le explicarán verbalmente los resultados del examen, los cuales serán detallados en forma precisa en el Manual. Es nuestro deseo que los residentes extranjeros puedan adquirir mayor consciencia sobre su estado de salud, tomando como base esta información.

Muchas veces la persona que ha contraído una enfermedad infecciosa parasitaria crónica no la detecta debido a que los síntomas casi no se perciben. Pero si se descuida y deja pasar mucho tiempo, en algunos casos pueden resultar en afecciones irreparables e irreversibles. Le rogamos que sirviéndose de este Manual, Ud. se haga el chequeo médico para descartar la posibilidad de tener una infección parasitaria crónica.

### **SOBRE EL CHEQUEO MÉDICO**

El Chequeo Médico es gratuito. No obstante, es necesario hacerse el análisis de materia fecal (deposiciones) y de sangre y algunas veces el de orina. Para el análisis de materia fecal se le entregará un envase recolector al cual se adjuntan las instrucciones para la toma de la muestra. La muestra se debe llevar el mismo día o a la mañana siguiente del Chequeo Médico.

El análisis de sangre y de la orina se efectuarán en el consultorio médico cercano a su domicilio, o en el Centro de la Comunidad (community center) al momento de efectuarse el Control de Salud (kenko sodan kai). La muestra de sangre es de unos 3 cc a 5 cc.

En los lugares donde se efectúe el Control de Salud (kenko sodan kai) se creará la mayor cantidad posible de espacios cerrados colocando mamparas u otro tipo de paneles para que las personas que concurran no tengan sensaciones desagradables. Los lugares y fechas del Chequeo Médico se darán a conocer por diversas formas y medios de información. Sírvanse comunicar a sus familiares, amistades y cuantas personas puedan para que se beneficien con este chequeo médico. En los lugares de control de salud siempre habrá un médico calificado quien atenderá casos

imprevistos. Si una persona no hubiera recibido el Manual de Salud, le será entregado el mismo día del Chequeo Médico.

En estos Chequeos Médicos de infección parasitaria crónica se incluyen chequeos de enfermedades o afecciones que las instituciones médicas o laboratorios de análisis clínicos de Japón no realizan cotidianamente. Si aprovechan esta oportunidad para realizarse el chequeo médico, seguramente se sentirán más tranquilos.

#### **MODO DE USO DEL MANUAL DE SALUD**

En este Manual hay páginas donde se detallan los resultados del Chequeo Médico: si actualmente sufre o no de una infección parasitaria crónica, si en el pasado ha sufrido o no la enfermedad, o la existencia de antecedentes.

Sírvase guardar el Manual de Salud cuidadosamente como información sobre su estado de salud. Asimismo, cuando reciba atención médica ya sea en Japón o en su país, sírvase presentar este Manual de Salud.

#### **RESULTADO DEL CHEQUEO MÉDICO**

Infección parasitaria crónica	Historia de la enfermedad actual	Método de Diagnóstico	Historia de la enfermedad	Método de diagnóstico	Fecha de confirmación	Notas Suplementarias
Malaria						
Mal de Chagas o Tripanosomiasis						
Leishmaniasis (Uta)						
Disenteria Amebiana						
Giardiasis						
Criptosporidiosis						
Ascariasis						
Infección por Anquilostoma o uncinarias						
Tricuriasis						
Esquistosomiasis						
Cisticercosis						
Otros						

Resultado : (+) = Positivo, (-) = Negativo

Método de Diagnóstico :

Suero sanguíneo = Análisis de suero sanguíneo,

Materia fecal = Análisis de materia fecal

## **ANÁLISIS NECESARIOS PARA LA CONFIRMACIÓN DE LAS INFECCIONES PARASITARIAS CRÓNICAS Y UNA BREVE EXPLICACIÓN SOBRE ESTAS ENFERMEDADES**

### **I MALARIA**

Es una enfermedad febril y se propaga en regiones tropicales. Puede ser también crónica o persistente. A veces se repiten ataques de fiebres provocando malestares desagradables. Si se confirma la infección de malaria crónica puede realizarse el tratamiento establecido. Debe realizarse el chequeo médico y confirmar el diagnóstico, si se tiene o no la enfermedad y tomar las respectivas medidas.

Es necesario hacerse el análisis de sangre.

### **II MAL DE CHAGAS**

Rogamos a las personas provenientes de Centro y Sudamérica que se realicen el Chequeo Médico para confirmar si tienen o no esta enfermedad. La infección es propagada por los insectos hematófagos o por transfusiones sanguíneas de una persona portadora del parásito. Muchas personas no se percatan de que se encuentran infectadas de esta enfermedad, y hay casos en que se dan cuenta en la etapa final de la enfermedad al presentarse repentinamente síntomas graves como por ejemplo, insuficiencia cardíaca.

Si la infección crónica se diagnostica en etapas tempranas, no resulta imposible tomar las medidas necesarias.

Es necesario hacerse el análisis de sangre.

### **III LEISHMANIASIS (UTA)**

Esta enfermedad infecciosa se caracteriza por presentar diversos síntomas en los órganos internos, la piel, la membrana mucosa u otros. Se propaga en muchas regiones de Medio Oriente, Este del Asia, Centro y Sudamérica, etcétera. Como en Japón no existe esta enfermedad infecciosa, no se han establecido su diagnóstico completo ni un régimen de tratamiento. Cuando se llega a la fase crónica desaparecen los síntomas subjetivos, pero hay veces en que la enfermedad avanza. Es muy importante realizarse el chequeo médico y obtener el resultado del diagnóstico.

Es necesario hacerse el análisis de sangre.

### **IV DISENTERÍA AMEBIANA**

La Disentería Amebiana no sólo afecta el aparato digestivo sino que puede trascender hacia los órganos internos. Es una enfermedad infecciosa que si no es tratada puede provocar la muerte. Hay veces en que no se sienten los síntomas y cuando el enfermo se da cuenta, la enfermedad ya ha llegado a tal estado de gravedad que muchas veces amenaza la vida. Lo más importante es realizar un diagnóstico temprano. Para ello es necesario hacerse el análisis de sangre y de la materia fecal.

### **V GIARDIASIS**

La Giardía lamblia es un parásito protozoario que vive en el intestino de las personas. El síntoma principal es la diarrea, pero si la infección se hace crónica en algunos casos no presenta síntoma alguno. Cuando los parásitos se reproducen en el intestino se introducen a la vesícula a través del ducto biliar produciendo algunas veces inflamaciones. Para evitar estas complicaciones es muy importante realizar un diagnóstico exacto. Es necesario el examen de materia fecal.

### **VI CRIPTOSPORIDIOSIS**

Esta infección es importante por ser una causa subyacente de la diarrea. Los patógenos evacuados por las materias fecales son resistentes a los cambios del medio ambiente y al desinfectante utilizado en la depuración del agua. Además, debido a que el parásito es de diámetro pequeño, puede pasar por las tuberías en el proceso de filtración, y se conoce que causa contagios a larga escala a través de la red hidráulica. Se sabe que las personas que están en situación de inmunodeficiencia a causa de esta diarrea pueden llegar a la muerte, por ello es mejor hacerse el examen de la materia fecal para diagnosticar si se tiene o no la enfermedad.

### **VII ASCARIDIASIS**

La ascáride tiene la forma de un cordón delgado, es uno de los parásitos helmitos y pertenece a los nemátodos. La ascariasis causa los síndromes del aparato digestivo como la diarrea, entre otros, y la inflamación del conducto colédoco por la introducción de la ascáride en los conductos biliares. En los bebés e infantes se observa atraso en el crecimiento. Casi nunca llega a provocar la muerte, pero es muy importante realizar un diagnóstico temprano, y tomar las medidas necesarias para el tratamiento.

Es necesario el examen de la materia fecal.

### **VIII INFECCIÓN POR ANQUILOSTOMA O UNCINARIAS**

El anquilostoma o uncinaria, es un parásito que después de instalarse en los conductos digestivos, succiona gran cantidad de sangre. Por lo tanto, en un caso de presencia de gran cantidad de parásitos, puede provocar la anemia debido a la pérdida de sangre ocasionada por la succión. Especialmente los bebés son afectados muy gravemente en su crecimiento. La infección casi nunca llega a un proceso mortal pero es importante el diagnóstico temprano para tomar las medidas necesarias en su tratamiento.

Es necesario el examen de materia fecal.

### **IX TRICURIASIS**

Es una enfermedad infecciosa parasitaria representativa que retrasa el crecimiento en los bebés e infantes debido al síndrome gastrointestinal como la diarrea, entre otros. La infección casi nunca llega a un proceso mortal pero es importante el diagnóstico temprano para tomar las medidas necesarias en su tratamiento.

Es necesario el examen de materia fecal.

### **X ESQUISTOSOMIASIS**

El esquistosoma es un parásito que se instala en los vasos sanguíneos y succiona gran cantidad de sangre. Cuando el parásito llega a su madurez, deposita gran cantidad de huevos, los cuales obstruyen los vasos sanguíneos periféricos y paraliza la corriente sanguínea, provocando graves daños en todo el sistema. Se encuentra en el Este y Sudeste Asiático, África y Sudamérica, y si no se trata a tiempo puede llegar a ser una enfermedad irreparable seguida por un proceso mortal. Si se diagnostica tempranamente, es de esperar que se cure debido a que existe un tratamiento